



総 第 2 3 6 号

平成29年2月27日

塩竈市議会議長

香 取 嗣 雄 殿

塩竈市長 佐 藤



文書質問に係る回答書の提出について

平成29年2月13日付け議第149号にて送付のありました文書質問について、別添
のとおり回答書を提出いたします。

記

1. 質 問 者 塩竈市議会議員 今野 恭一

2. 質問件名 海岸通地区震災復興市街地再開発事業の駐車場について



文書質問回答書

1. 当初は近隣の駐車場を利用するという話が進んだと認識しているが、近隣駐車場の話はどうなったのか。

(回答)

新たに整備されます住宅棟は、参加組合員であるマンション事業者が取得することとなっておりますが、居住者の利用する駐車場に関し近隣民間駐車場と新たに整備する公共駐車場の利用とが考えられておりました。

マンション事業者では、居住者の利便性のため公共駐車場の利用を希望しており、市といたしましても、月極・定期貸しによる収入安定性の面から、マンション事業者と公共駐車場をご利用いただく方向性で協議しております。

2. いつ誰が駐車場を作ることを発案し、決めたのか。

(回答)

公共駐車場につきましては、平成23年12月に制定いたしました『塩竈市震災復興計画』P34本塩釜駅周辺地区の現状と課題に「商業地区としての復興が求められており、市営駐車場の建替えを含め、複合的な再開発を促進する必要があります。」として、再開発事業に合わせた再建を記載し、市議会へご報告いたしております。

その後、海岸通地区では地権者の皆様から再開発事業実施への気運が高まり、組合による事業計画のなかで、当初から被災解体した旧公共駐車場の再建と位置づけ、再開発組合が整備した施設を市が取得するものと計画されました。

3. 採算計画も示されないまま計画が進行しているようだが、赤字が発生した場合、誰が責任を取るのか。

(回答)

公共駐車場収支予想につきましては、利用者の想定、料金設定、時間貸回転率、地方債借入の返済額、経常的な維持管理費などを想定し、検討しているところです。公共駐車場の取得額については、今後予定されている工事入札・契約によって決定されますので、民業圧迫とならぬよう、近隣民間駐車場の料金等も把握しながら整理を行ってまいります。

また、公共駐車場は、計画の当初から被災解体した旧公共駐車場の再建と位置づけ、再開発組合が整備した施設を市が取得するものですので、仮に収支が赤字となった場合には、市で対応することとなります。

4. 駐車場建設に1/5を市が補助金を支出することを誰が発案し、誰が決めたのか。

(回答)

再開発事業の制度として、補助対象事業費のうち4/5は復興交付金が充当されますが、平成28年2月定例会で、組合の自己負担となる1/5部分に対して、事業の成立性を高めるため、さらに再開発事業を支援する目的から、本市の補助支援を決定したものです。

これは、駐車場整備費にのみ充てられるものではなく、総事業費のうち補助対象事業費の1/5について支援を行うものです。

5. 補助金を出し、尚且つ2億円で塩竈市が買い取るようだが、誰が発案し誰が決めたのか。そしていつの時点で議会に説明があったのか。

(回答)

海岸通地区震災復興市街地再開発事業につきましては、復興交付金を活用した補助事業であり、通常の市街地再開発事業の補助率2/3に対して4/5であること、さらに地方負担がなく全額国費であることから事業を推進してまいりました。

本来組合負担となる1/5補助支援につきましては、事業の成立性を高め、再開発事業を支援する目的から市独自の補助支援をするものです。

また、駐車場を含む公共公益施設については、組合の要請により塩竈市が保留床を取得する方向性としております。その取得方針につきましては、平成25年6月定例会、平成27年6月定例会、同じく9月定例会及び平成28年12月定例会等で、再開発事業にかかる答弁により、考え方についてご説明させていただいています。